

屋内活動

プログラム名(コース名)	屋内キャンプファイヤー			
概要	仲間と疑似炎を囲み、火の大切さを学ぶ。スタンツやゲーム等を通して絆を深め、心の交流を深める。			
ねらい	友と語り、友を知り、自分を知ることができる。疑似炎を通して、火の大切さ、芯の強さ、やさしさ、温かさを再認識することができる。スタンツ等のグループ活動を通して、仲間意識を養うことができる。			
条件	対象	全年齢	人数(指導者人数)	～100人程度(2人以上)
	活動時間	90分～120分	活動時期	通年
	活動場所	体育館・各研修室	費用	1,000円
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	(個人) 飲料、軍手(井桁を組む研修生のみ) (団体) スタンツに必要なもの (貸出) 衣装(3人分)、うちわ・杖、アンプ、CDラジカセ(Bluetooth機能あり)、 キャンプソングCD(収録曲は手引きに記載)延長コード、井桁セット、ビニールシート(緑色) ランタン(献詞者用)×8、単4電池、ランタン(御子用)×3、単3電池、片付け用具			
安全上の留意点 (対策方法)	暗闇での転倒、接触 スタンツ中のケガ(活動範囲を考慮し、無理なスタンツ構成をしない) 井桁を組む時に太薪のささくれが刺さらないように注意をする			
活動内容(手順)				
事前①指導者配置の決定: 活動指導(準備、進行、火の神などの役割分担を決定)、巡視指導(活動中の研修生の補助や指導・助言) ファイヤーキーパー(活動に応じて灯りの調整)準備/片付け(当日準備/備品の返却、活動場所の原状復帰) ②下見の実施: 研修生の動線及び活動場所の確認 ③実施方法の決定: 第1部から第3部までの流れや休憩時間、全員で合唱する歌等の決定(進行の不明点は要相談) ④グループ編成: 活動内容に応じて、スタンツを行うグループ等編成 ⑤研修生への事前指導: 「内容」「ねらい」「安全上の留意点」等の指導、持ち物の確認				
活動前①打合せ: 16:00頃、事務室前で所員と団体責任者、担当指導者にて実施 実施判断: 団体責任者と協議の上決定 確認事項: 人数、健康状態、貸出備品 備品をすべて持って活動場所へ移動 ②準備: 活動スペースの確保、活動場所にビニールシートを敷く、施設設備・コンセントの位置等を所員とともに確認 片付けの説明: 道具類、ビニールシートの片付け、貸出備品の返却、活動場所の原状復帰について所員とともに確認				
活動①活動場所へ移動 ②活動開始: 第1部→第2部→第3部 ③確認事項: 人数、健康状態 ④報告: 指導者は所員へ活動終了と研修生の健康状態を報告 ⑤片付け(片付け担当): 活動場所のビニールシート、原状復帰、備品の片付け、貸出備品の返却と確認 体育館を使用した場合、フロアのモップがけ(掃除器具庫のモップを使用)				

〈その他〉

※雨天時に実施する場合スタンツは、晴天時の活動(キャンプファイヤー)の内容と併用可。

- ・当日の準備(活動前①②)は研修生の屋内キャンプファイヤー係も指導者とともに参加